平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月10日

上場会社名　株式会社 トーホー　　上場取引所　東 大 福
コード番号　8142　URL　http://www.to-ho.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役　(氏名) 上野　裕一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　財務部長　(氏名) 佐藤　敏明　TEL 078-845-2431

四半期報告書提出予定日　平成25年6月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	49,035	1.8	699	13.5	664	△3.4	330	△2.1
25年1月期第1四半期	48,177	8.3	615	△19.0	688	△17.1	337	△9.7

(注)包括利益　26年1月期第1四半期　486百万円　(23.1%)　25年1月期第1四半期　395百万円　(62.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第1四半期	6.05	―
25年1月期第1四半期	6.21	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第1四半期	83,264	22,349	26.7
25年1月期	76,576	22,142	28.8

(参考) 自己資本　26年1月期第1四半期　22,250百万円　25年1月期　22,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	―	5.00	―	5.00	10.00
26年1月期	―				
26年1月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 1月期の連結業績予想(平成25年 2月 1日～平成26年 1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	99,000	2.6	1,100	20.2	1,000	△24.0	450	△10.8	8.24
通期	205,000	4.0	2,800	15.9	2,700	△3.8	1,200	35.7	21.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。
詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方法の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期1Q	55,060,834 株	25年1月期	55,060,834 株
② 期末自己株式数	26年1月期1Q	460,898 株	25年1月期	459,678 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期1Q	54,600,749 株	25年1月期1Q	54,343,444 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成25年２月１日から平成25年４月30日まで）におけるわが国経済は、新政権下による大規模な金融緩和をはじめとする経済政策を背景に、円安の進行や株価の上昇、個人消費の持ち直しなど、景気回復の兆しが見られた一方で、電気料金や原料価格値上げなどの懸念材料もあり、引き続き予断を許さない状況で推移いたしました。

当社グループが属します業務用食品卸売業界、食品小売業界におきましても、一部で消費マインドに持ち直しの動きが見られましたが、日常消費に対する「節約志向」は根強く、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは、第五次中期経営計画（３ヵ年計画）「ＩＭＰＡＣＴ　２０１４」（平成25年１月期（2012年度）～平成27年１月期（2014年度））の２年目として、更なる「持続的成長と収益力の向上」を図るべく、「全国展開に向けた事業基盤の拡大」や「業務改革による生産性の向上」など、７つの重点施策に基づいた具体的な取組みを推進いたしました。

当第１四半期連結累計期間は、前期が閏年であった影響もありましたが、新規M&Aの寄与などにより、売上高は490億35百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は６億99百万円（同13.5%増）となりました。経常利益は前期に有価証券の売却益が寄与した反動もあり、６億64百万円（同3.4%減）、四半期純利益は３億30百万円（同2.1%減）となりました。

セグメント別の概況につきましては、次のとおりであります。

＜ディストリビューター事業部門＞

当事業部門におきましては、更なるシェア拡大を図るべく、外食ビジネスをトータルにサポートするための総合展示商談会を全国６会場で開催するとともに、テーマ別、エリア別、得意先別など、様々な切り口による展示商談会を頻繁に開催し、得意先や地域のニーズに対し、より細やかな提案活動を強化いたしました。

事業所につきましては、４月に北陸地区初進出となる㈱トーホーフードサービス金沢営業所（石川県金沢市）を開設し、全国展開に向け事業基盤を更に拡大いたしました。

以上の結果、前期10月17日にグループ入りした㈱鶴ヶ屋（東京都練馬区）の寄与もあり、当事業部門の売上高は321億42百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は４億66百万円（同69.1%増）となりました。

＜キャッシュアンドキャリー事業部門＞

当事業部門におきましては、業務用食品現金卸売店舗「Ａ－プライス」において、３月に糸満店（沖縄県糸満市）を出店し、沖縄県のドミナントを強化するとともに、２月に新金岡店（堺市北区）、３月に菅原店（神戸市長田区）、４月に佐賀店（佐賀県佐賀市）を改装し、事業の活性化を図りました。また、主要顧客となる中小の飲食店への提案強化のため、４月に福岡地区でＡ－プライス主催の展示商談会を開催いたしました。

以上の結果、前期11月１日にグループ入りした㈱小松屋食品（静岡県沼津市）、前期12月に営業を再開した㈱トーホー・パワーラークス「パワーラークス世田谷店」の寄与もあり、当事業部門の売上高は100億18百万円（前年同期比7.7%増）となりました。一方、競争が激化する中にあって、Ａ－プライスでは計画的な新規出店、改装を進めたことにより一時的に経費が増加いたしました。加えてパワーラークス世田谷店が未だ営業休止前の業績には完全に回復していないこともあり、営業利益は97百万円（同49.6%減）となりました。

＜食品スーパー事業部門＞

当事業部門におきましては、食品小売業界の価格競争が激化する中、地域密着型の食品スーパーとしての価値を高め、お客様に毎日のおかずをきちんと提供できる店作りに引き続き注力いたしました。

また、４月に神戸地区での出店50周年を迎え、全店で誕生祭を開催し販促活動を強化いたしました。

しかしながら、お客様の食品や日用品など日常消費への低価格志向、節約志向は根強く、既存店の売上は前年割れで推移いたしました。

以上の結果、当事業部門の売上高は62億40百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は６百万円（同84.6%減）となりました。

＜その他事業部門＞

当事業部門におきましては、グループ内の節電・省エネ対策、業務効率化推進やコスト・コントロールに寄与するとともに、食品業界の安心・安全管理をトータルにサポートするため、品質管理代行サービスや各種衛生検査・商品検査など「品質管理サービス」の販売を引き続き強化いたしました。

以上の結果、当事業部門の売上高は６億34百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は１億28百万円（同21.9%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

・総資産

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ66億88百万円増加し、832億64百万円となりました。主に増加したのは現金及び預金９億94百万円、受取手形及び売掛金18億23百万円、有価証券27億50百万円、商品及び製品12億６百万円です。

・負債

負債は、前連結会計年度末に比べ64億80百万円増加し、609億14百万円となりました。主に増加したのは支払手形及び買掛金32億57百万円、短期借入金及び長期借入金29億72百万円です。これは、主として前倒しの資金調達や季節的な影響によるものです。なお、当第１四半期連結会計期間末の借入金の総額は284億41百万円（前連結会計年度末254億68百万円）となりました。

・純資産

純資産は前連結会計年度末に比べ２億７百万円増加し、223億49百万円となりました。四半期純利益による増加３億30百万円、その他有価証券評価差額金１億14百万円の増加がある一方で、配当金の支払２億73百万円（前期末１株５円）がありました。自己資本比率については総資産の増加により、26.7％と前連結会計年度末の28.8％に比べ2.1ポイント低下いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年１月期の連結業績の見通しにつきましては、平成25年３月11日発表の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成25年２月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。なお、これによる当第１四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,003	9,997
受取手形及び売掛金	13,629	15,452
有価証券	150	2,900
商品及び製品	8,722	9,928
原材料及び貯蔵品	44	45
その他	3,482	3,516
貸倒引当金	△44	△32
流動資産合計	34,987	41,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,381	10,327
土地	16,092	15,997
その他（純額）	2,312	2,326
有形固定資産合計	28,785	28,651
無形固定資産		
のれん	3,177	3,081
その他	564	552
無形固定資産合計	3,742	3,634
投資その他の資産		
投資有価証券	1,480	1,653
関係会社株式	1,202	1,172
敷金	4,535	4,472
その他	2,173	2,199
貸倒引当金	△331	△329
投資その他の資産合計	9,060	9,168
固定資産合計	41,588	41,454
資産合計	76,576	83,264
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,961	25,218
短期借入金	9,436	10,527
未払法人税等	753	414
賞与引当金	300	784
その他の引当金	217	218
その他	3,013	3,105
流動負債合計	35,683	40,269
固定負債		
長期借入金	16,031	17,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年１月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年４月30日)
引当金	270	279
資産除去債務	343	345
その他	2,105	2,106
固定負債合計	18,750	20,645
負債合計	54,433	60,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,344	5,344
資本剰余金	5,041	5,041
利益剰余金	11,803	11,860
自己株式	△168	△168
株主資本合計	22,021	22,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	212
繰延ヘッジ損益	△74	△40
その他の包括利益累計額合計	23	171
少数株主持分	97	99
純資産合計	22,142	22,349
負債純資産合計	76,576	83,264

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年２月１日 至　平成24年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年２月１日 至　平成25年４月30日）
売上高	48,177	49,035
売上原価	39,147	39,720
売上総利益	9,029	9,314
販売費及び一般管理費	8,413	8,615
営業利益	615	699
営業外収益		
受取利息	23	2
受取配当金	4	1
有価証券売却益	98	0
その他の金融収益	5	－
その他	79	32
営業外収益合計	211	37
営業外費用		
支払利息	58	48
有価証券売却損	18	－
その他の金融費用	－	5
持分法による投資損失	14	10
その他	47	7
営業外費用合計	139	72
経常利益	688	664
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	1	30
その他	7	0
特別利益合計	9	30
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	17	12
投資有価証券評価損	4	－
その他	15	5
特別損失合計	40	18
税金等調整前四半期純利益	656	676
法人税等	313	339
少数株主損益調整前四半期純利益	342	337
少数株主利益	5	7
四半期純利益	337	330

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年２月１日 至　平成24年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年２月１日 至　平成25年４月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	342	337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	116
繰延ヘッジ損益	△3	33
その他の包括利益合計	52	149
四半期包括利益	395	486
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	389	478
少数株主に係る四半期包括利益	5	8

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
Ⅰ．前第１四半期連結累計期間（自　平成24年２月１日　至　平成24年４月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）２	四半期連結財務諸表計上額
	ディストリビューター事業	キャッシュアンドキャリー事業	食品スーパー事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,787	9,305	6,437	647	48,177	－	48,177
セグメント間の内部売上高又は振替高（注）１	16,829	20	－	1,530	18,380	△18,380	－
計	48,617	9,325	6,437	2,177	66,557	△18,380	48,177
セグメント利益	275	193	40	105	615	－	615

（注）１．報告セグメント内の内部取引を含んでおります。
２．セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△18,380百万円は、セグメント内及びセグメント間取引消去額であります。また、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（のれんの金額の重要な変動）
「ディストリビューター事業」セグメントにおいて、当第１四半期連結累計期間に株式取得により河原食品㈱及び㈱藤代商店を100％子会社化したことに伴い、979百万円ののれんを計上しております。

Ⅱ．当第１四半期連結累計期間（自　平成25年２月１日　至　平成25年４月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）２	四半期連結財務諸表計上額
	ディストリビューター事業	キャッシュアンドキャリー事業	食品スーパー事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	32,142	10,018	6,240	634	49,035	－	49,035
セグメント間の内部売上高又は振替高（注）１	17,939	502	0	1,279	19,720	△19,720	－
計	50,081	10,520	6,240	1,913	68,756	△19,720	49,035
セグメント利益	466	97	6	128	699	－	699

（注）１．報告セグメント内の内部取引を含んでおります。
２．セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△19,720百万円は、セグメント内及びセグメント間取引消去額であります。また、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。